



国労西日本

国労西日本本部

NO. 340

発行責任者 植田 重信
編集責任者 大北 真也

国労西日本HP



国労西日本 検索

第37回定期西日本本部大会を開催

次世代に国労運動の継承を！

組織の前進に全力を上げよう

労働条件改善等が更に求められている

国労西日本本部は8月4日、国労大阪会館において第37回定期西日本本部大会を開催し、この一年間の闘いの総括を行ない、安全・安心輸送の確立、労働条件の改善、組織拡大・強化、ローカル線廃止反対、24春闘等の諸課題について向こう一年間の闘う方針を確立しました。

大会は、職場・地域での様々な問題、組織拡大に対する取り組み、ローカル線問題、春闘に対する取り組み、地域との共闘した闘いの報告など活発な議論が行なわれました。



議長団

西園代議員

議長に近畿地方本部選出の西園代議員、副議長に米子地方本部選出の細

細田代議員

大会は、中野執行副委員長の司会で開会し、代議員24名中24名の出席、執行部13名中12名の出席で大会が成り立ち、議長団には、議長に近畿地方本部選出の西園代議員、副議長に米子

田代議員が選出されました。その後、植田執行委員長のおあいさつがあり、来賓あいさつでは、日本共産党たつみ前参議院議員、社民党 長崎代表、大阪労連 菅議長、こくみん共済 高瀬次長が今日の情勢などを話され、連帯のおあいさつをされました。国労本部からは木村執行副委員長と辻執行



委員が出席し、木村副委員長が全国大会の報告など今日の情勢を話された。

経過報告、協約・協定の締結、二〇二三年度運動方針を提案し、14名の代議員（特別代議員含む）から発言があり、答弁・集約後、採択された。決算・予算・規約改正の提案があり、承認がされました。ストライキ権確立の投票では、満場一致で採択されました。大会宣言を読み上げ、最後に植田新委員長の団結ガンバ

ローで終了した。

国労西日本本部

植田執行委員長挨拶要旨



内部留保を生活向上、雇用を守ることに活用することこそが企業の社会的責任であることを強く求めてきました。「闘わなければ変わらぬ。要求も前進しない」ことをもう一度確認し、24春闘の闘いへと生かして行きたい。

組織拡大・強化

「組織拡大を必ず各地方本部1名以上をやりきろう」と全機関で取り組むことを確認し、4名の拡大を勝ち取り、組合員の日頃からの活動が結びついていることは明らかです。ホームページをリニューアルし、活用・充実を図ってきました。積極的なアプローチを含めて次世代に国労運動の継承と運動・組織の前進に全力を上げよう。

安全・安心の輸送と労働条件の改善

西日本会社は、「JR西日本グループ長期ビジョン2032・中期経営計画2025」は、徹底したコスト削減・構造改革に取り組み、安全を脅かす「大合理化」施策、人件費の抑制・コスト削減を一層押し進めようとしています。

将来不安を理由とした若年の離職が各社で増えています。私たちは、全ての労働者の生活不安などの解消に向け、労働条件改善等が更に求められています。

23年春闘は、労働者の賃金が上がらず物価だけが上昇し生活苦の世の中を変えるため、

公共交通を守る

「地域公共交通活性化再生法」が国会で可決成立されました。鉄道は一旦廃線されれば、復活は簡単に出来ません。存廃は単に鉄道会社の経営問題と言っただけでなく、地域の将来像が問われる問題でもあります。

西日本本部は、国民の移動する権利・交通権、そこに働く労働者の立場から捉え、自治体への要請や利用者・地域住民との様々な共同行動など存続運動を展開することが重要です。

政治課題

憲法破壊と国民生活無視の悪政を続ける岸田自公政権と改憲勢力に対峙し、日本と世界の恒久平和を実現するために、大軍拡と改憲を許さない国民的運動をひろげる為に広範な労働者、共闘・民主団体と団結・連帯し、ロシアの即時撤退と外交による平和的解決、核兵器廃絶、原発再稼働反対、大軍拡阻止、憲法改悪反対のため総力を挙げ奮闘しなければなりません。

国労西日本本部 2023年度 新執行部

役職	氏名	地本	任 務
執行委員長	植田 重信	近畿	総括、総務、法対
執行副委員長	藤野 能章	北陸	業務総括
執行副委員長	大和 忠昭	近畿	財政部長、貨物担当部長
書記長	大北 真也	近畿	企画部長、共闘部長 教宣部長、家族会、共済担当
執行委員	倉下 文明	米子	業務、中国統括本部担当
執行委員	中本 博次	近畿	調査・福祉対策部長
執行委員	伊野 活行	近畿	組織部長、賃金対策部長
執行委員	河野 宏幸	近畿	業務部長
執行委員	波見 健一	近畿	業務、組織
執行委員	谷澤 由紀恵	近畿	青年・女性対策部長、組織
会計監査員	岡出 智浩	近畿	
会計監査員	石割 嘉夫	近畿	
青年部長	大北 真也	近畿	
女性部長	谷澤 由紀恵	近畿	

「来賓の皆さん」
日本共産党
たつみ コータロー
前参議院議員
社民党大阪連合
長崎 由美子 代表
大阪労連
菅 義人 議長
こくみん共済
高瀬 誉之 次長
国労本部
木村 執行副委員長
辻 執行委員
〔メッセージ〕
立憲民主党
つじもと 清美
参議院議員

大変お疲れ様でした！

⇒ 今大会で退任
中野執行副委員長
片岡執行委員
先田執行委員
福井会計監査員



がん保険にできることを、
もっと。

No.1 アフラック
がん保険・医療保険
保有契約件数
令和3年版 インシヤランス生命保険統計号



- 1 幅広い保障で 経済的負担をサポート
治療前の検査から治療後の外見ケアまで 幅広い保障でしっかり備えることができます。
- 2 付帯サービス<アフラックのよりそうがん相談サポート>(*1)> (2023年1月23日サービス提供開始予定) アフラックのよりそうがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート
「がんかもしれない」と思ったときから 専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(*1) アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.afiac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html)をご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています) (引受保険会社) AFツール-2022-0277-2210030 7月13日
アベニール株式会社 アフラック
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 東京第二法人営業部
交通ビル3階 丸の内センタービル19階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822 TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

大北書記長集約要旨



安全問題について
これまで「安全・安心」
を求めて議論してきた。
雪害においても臨時労使

強化と地方本部との連携を強化していく。
春闘について
西日本では春闘交渉時に年度末決算で
予想よりも上回るなら、この間我慢を強
いられてきた社員に還元するべきだとい
うことを主張してきた。しかるべき時に
は還元させるようにしていかなければな
らない。貨物も含めて、コロナにより社
員とその家族は度重なる賞与の超低額回
答により苦しめられてきた。職場ではカツ
プ麺とカット野菜で過ごす若者も多くい
る。声をあげなければ何も変わらない。
共に声をあげる仲間を増やし、世論も巻
き込む運動を進めていくことが重要。

政治的課題について

岸田政権は改憲発議を狙っており、
「戦争する国」へと突き進むようしてい
る。憲法改悪阻止、戦争のない平和な世
界、民主主義を守り、来たる解散総選挙
での審判を下す時が来ている。国民不在
の暴走政治を許さず、国民主人公の政治
へと転換させるためにも野党一丸となっ
て奮闘することが求められている。野党
共闘で岸田政権が推し進める悪政を止め
なければならぬ。
組織拡大・強化について
この間、ホームページのリニューアル
やSNSのアカウント作成などを行ない、
全地方本部参加で活用して国労運動が見
えるように広げてきた。ホームページを
見て電話相談もある。確実に国労に興味
をもつ労働者は増えている。掲示板も活
用しながら時代に合わせた取り組みを進
めていく。本部提起の5年ビジョンの最
終年度であり、厳しい事実を変え、「組
織・運動・財政」を残す為にも、まずは
全員で一歩前進をしよう。全組合員が
「国労に入ろう」と声かけをしよう。先
輩方が退職してもJR採用者が引き継げ
るように、そしてその次の世代へ引き継
ぎができるように拡大をしよう。全国
の仲間を勇気づける一歩を西日本本部か
らやりきろうではありませんか。先輩方
とともに国労の旗を守りぬく決意を申し
上げ集約とする。

ローカル線の問題について
公共交通を守るためにも中央本部と連
携しローカル線問題や並行在来線問題な
ど学習を強化し、利用者の生活の足を守
ることや地域の活性化、労働者の職場を
守ること、労働者の雇用を守ることなど、
様々な課題に対して取り組む事が重要。
「地域の理解なく廃線はしない」と言う
が、「届出制」から「許可制」に戻さな
ければならない。利用者がスムーズに利
用しやすい設備・ダイヤ設定を求めてい
かななくてはならない。トラックドライバ
の確保が難しくなっている今だからこそ
貨物鉄道物流輸送ルートとして鉄路を守
ることが重要であり、客貨一体の運動の